

房総 だより

(農)房総食料センター

千葉県山武郡横芝光町上原 368-1

<http://www.boso.or.jp/>

☆産地情報をお知らせします。

発行：2019年12月6日

野良仕事

種をまく準備

「ハウスの修理が思っていたより早くできたから、肥料をまいて、カブの種をまく準備をするよ。」という話をきき、横芝光町、越川大助さん（47歳）の大型ハウスについていきました。このハウスは500坪ありますが、台風15号でビニールが全部はがされ、側面の鉄骨の柱にひびが入ってしまいました。「今年は台風で収量が少なくなっているのに、このまま次の作付けがハウスを使えず、トンネル栽培だったら手間がかかるなあって、頭が痛かったけど、天気の良い日を狙って修理が終わってよかったよ～」と笑顔です。

トラクターに乗って現れた越川さん、取り付けたブロードキャスターという機械に肥料を入れると、あっという間に散布が終わりました。「機械でまくとあっという間でしょ。逆に、これから耕すのはゆっくり丁寧にかけるよ。」「房総食料センターのカブは玉も、葉も食べてもらいたいから、葉の色が抜けないように気をつけている。」越川さんのハウスは砂質土壌、ビニールがはがされ雨に長くさらされた土には長く効く肥料を入れて改善させるそうだ。耕してからしばらくおいて種をまき、収穫は2月中旬の予定。種まき準備が着実に進んでいるのを見て、ほっとしました。就農して27年、コンスタントに出荷できる経営を目指して、今はピーマン、カブ、チンゲン菜の輪作に落ち着いたとか。お話を聞くうちに、気づくと越川さんは経営者の顔になっていました。(B)

